

資料①令和7年度進行管理・評価シート

		説明者
①組織体制(様式1-1)		
1「計画推進協議会」(法定)の開催等 1	渡邊
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1(項目名) 2	亀内
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用 3	兵頭
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業 4	六車
1-3. 重要文化財内子座修理事業 5	多比良
1-4. 歴史的建造物の建物調査等 6	小野
1-5. 伝建地区の防災対策の検討 7	六車
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討 8	六車
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルール作成及び運用 9	兵頭
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討 10	六車
(質疑応答)-----		
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備 11	六車
2-2. 空き店舗対策の実施 12	渡邊
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業 13	渡邊
3-2. 伝統行事等の継承の支援 14	新田
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業 15	新田
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業 16	新田
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施 17	小野
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化 18	小野
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業 19	小野
4-5. 歴史的資源の周知・活用 20	渡邊
(質疑応答)-----		
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備 21	兵頭
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 ○文化財調査、指定について ○埋蔵文化財の取扱いについて 22	新田
2 ○文化財の修理(整備)について ○文化財の保存・活用を行うための施設について ○文化財の周辺環境の保全について ○文化財の防災について 23	小野
3 ○文化財の保存及び活用の普及・啓発について ○文化財行政等の体制について ○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について 24	小野
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 25	渡邊
⑥その他(効果等)(様式1-6) 26	小野
(質疑応答)-----		

令和7年度進行管理・評価シート
内子町 歴史的風致維持向上計画（令和元年6月12日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1「計画推進協議会」(法定)の開催等	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1(項目名)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用	3
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業	4
1-3. 重要文化財内子座修理事業	5
1-4. 歴史的建造物の建物調査等	6
1-5. 伝建地区の防災対策の検討	7
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討	8
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルールの作成及び運用	9
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討	10
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備	11
2-2. 空き店舗対策の実施	12
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業	13
3-2. 伝統行事等の継承の支援	14
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業	15
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業	16
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施	17
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化	18
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業	19
4-5. 歴史的資源の周知・活用	20
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 ○文化財調査、指定について	22
○埋蔵文化財の取扱いについて		
2 ○文化財の修理(整備)について	23
○文化財の保存・活用を行うための施設について		
○文化財の周辺環境の保全について		
○文化財の防災について		
3 ○文化財の保存及び活用の普及・啓発について	24
○文化財行政等の体制について		
○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)	26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制については、町並・地域振興課を事務局とし、庁内推進体制を構築するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。また、必要に応じて、本町の都市計画や景観まちづくり、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会を令和8年2月17日に開催。推進協議会では、進捗の報告をして評価をいただいた。今年度は博物館活動や学芸活動で幅のある取り組みを実施、課を超えた事務レベルでの情報共有・協議等は必要に応じて円滑に連携できた。ただし、庁内体制の強化・充実は検討課題として残る。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり系の充実が、庁内での連携や推進体制強化につながっていると感じられ、今後も実績を重ねつつ、庁内全体の体制整備について検討を継続する。		

状況を示す写真や資料等

内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催

- 開催日 令和8年2月17日(火)
- 内容 ①計画推進の進捗報告と評価
②歴史まちづくり計画の変更内容



内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
良好な景観の形成に関する施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史まちづくり計画の重点区域との関係性及び連携
 ・都市計画区域内の用途地域が重点区域内に含まれている。
 ・景観まちづくり計画では、町内全域を景観計画区域としている。景観計画重点区域を3カ所設定しており、そのいずれもが歴史まちづくり計画の重点区域内に位置している。景観計画区域への規制に加え建築物・工作物・屋外広告物に対する規制をかけ、重点的な景観整備を進めている。
 ・重点区域も屋外広告物条例の適用範囲であり、設置に対する申請や景観形成に配慮した屋外広告物への誘導等を行っている。
 ・伝建地区も重点区域内に位置し、その周辺環境の保存・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進していく。
 ・重点区域のうち内子地区と五十崎地区においては農業振興地域に該当しないが、小田地区においては大半が重なっている。

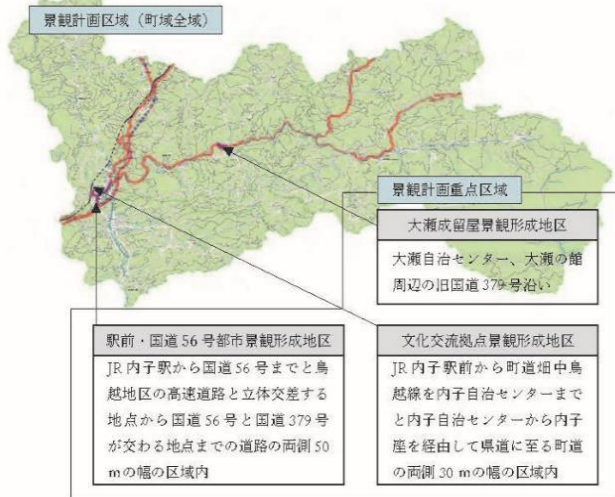
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子町景観まちづくり計画区域においては、条例で区域内の行為の届出が必要であり、今年度の届出は建物、広告物の計17件(うち内子町景観まちづくり評価員協議案件は0件)であった。また、伝統的建造物群保存地区においては、保存計画に従い、建造物等の修理・修景事業を計11件実施し、文化財としての特性の維持と景観整備を行った。都市計画については、都市計画マスタープラン・立地適正化計画の策定に伴う審議会を3月に開催する予定である。(いずれも作成日現在で予定を含み記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観コントロール及び意識啓発等、引き続き実施していく。都市計画については、令和7年度に都市計画マスタープランおよび立地適正化計画を策定予定としている。

状況を示す写真や資料等

■内子町景観まちづくり計画重点区域



■景観法第16条第1項の規定に基づく届出及び同条第5項後段の規定に基づく通知が必要となる行為の一覧

1 届出対象行為

(1) 町全域(景観重点区域を除く)における届出対象行為	
対象	基準
建築物	・延べ床面積100㎡以上の建築物の新築、増築、改築、色彩変更 ・高さ10m以上の建築物の新築、増築、改築
工作物	・地盤面から上端までの高さが10m以上の工作物の設置
開発行為等	・面積500㎡以上の土地区画形質の変更 ・面積500㎡以上の土砂、砂利の採取及び排出 ・面積1000㎡以上の屋外における物品の集積及び貯蔵
屋外広告物※	・屋外広告物条例の規定による許可を要するもの

(2) 景観重点区域における届出対象行為	
対象	基準
建築物	・延べ床面積10㎡以上の建築物の新築、増築、改築 ・延べ床面積20㎡以上の建築物の色彩変更
工作物	・地盤面から上端までの高さが2m以上の工作物の設置
開発行為等	・面積200㎡以上の土地区画形質の変更 ・面積200㎡以上の土砂、砂利の採取及び排出 ・面積100㎡以上又は高さ1.5mの屋外における物品の集積及び貯蔵
屋外広告物※	・屋外広告物条例の規定による許可を要するもの

なお、工作物とは、煙突、排気塔、電波塔、高架水櫃、冷却塔、彫像、記念碑、鉄柱、観覧車、コースター、コンクリートプラント、アスファルトプラント、石油・ガス等許容処理施設、汚水処理施設、ゴミ処理施設、橋、柵、保管庫及びこれらに類する施設とされる。

※屋外広告物の設置申請は、「内子町屋外広告物条例」が適用される。

■令和7年度実績(作成日現在)

- ・景観計画区域内の行為の届出件数 : 届出12件、通知0件、勧告0件
- ※うち重点区域内届出1件
- ・屋外広告物許可申請件数 : 7件
- ・土塀・板塀等設置奨励補助事業 : 0件
- ・緑の町づくり補助金(生垣補助) : 0件
- ・内子町景観まちづくり賞 : 0件
- ・伝統的建造物群保存地区修理・修景件数 : 国庫補助修理1件、国庫補助修景0件、町単費補助修理9件、町単費補助修景0件、町単費補助防虫2件

■内子町景観まちづくり評価員会(作成日現在)

①今年度なし

※評価員会開催の目安となる新規大型店舗の建設や景観重点地区での新規屋外広告物届出等が無かったため。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1-1. 歴史的風致形成建造物等の修理・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業、空き家再生等推進事業)

計画に記載している内容 重点区域内における歴史的風致形成建造物等の活用促進のため、所有者の意向も考慮しつつ周辺環境とともに調査及び事業計画作成を行い、修理・整備を行う。修理の際には併せて職人の技術継承も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○歴史的風致形成建造物「旧森家住宅」について
 ・第1期工事(主屋、下土間、燃料蔵)が令和7年7月25日に完了。
 ・令和7年6月16日「内子町歴史観光交流拠点施設条例」を公布し、同8月1日から指定管理者を公募した。現在、指定管理先と決定してる事業者と運営実証事業をしている。
 ・第2期工事を令和7年9月19日に着工(設備工事は8月28日)。建築主体工事は(株)山本建設、設備工事は(有)田丸電気水道設備が受注した。
 ・指定管理者とテナント入居者が決定するなど、活用促進に向けた体制作りが整いつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第1工期工事が完了。第2期工事の客座敷と米蔵の整備が進んでいる。第3期工事の駕籠蔵、茶室、広場の設計もしているため、指定管理者や地域住民等との協議を継続して、よりよい施設を目指す。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致形成建造物等の整備・活用

■旧森家住宅の第1期工事が完成

- 概要 主屋、下土間、燃料蔵が完成
- 工期
- ・令和6年9月27日～令和7年7月25日



主屋改修前写真



主屋改修後写真

■旧森家住宅の第2期工事を開始

- 概要 旧森家住宅7棟のうち、客座敷、米蔵の2棟及び中庭の工事に着手
- 内容
- ①建築主体：山本建設(198,000千円)
- ②設備工事：田丸電気水道設備(40,700千円)
- ③設計監理：スマカデザインオフィス
- 工期
- ・令和7年9月19日～令和8年3月24日予定

■旧二宮製材所事務所兼主屋のイベント開催

概要 愛媛県と東京藝術大学が主催する「アートベンチャーエヒメフェス2025」が令和7年10月18日～11月3日の間、県内4エリアで開催された。内子町でも旧二宮製材所事務所兼主屋が会場となり、井口梓さん(愛媛大学)の作品「つむぐWeaving History」が展示された。



旧二宮邸での展示とオープニングイベント

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1-2. 八日市護国伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和57年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要文化財等保存修理費補助金(県) 町単独事業		
計画に記載している内容	内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及びそれ以外の建造物等の修景を行う所有者への支援、町所有の伝統的建造物の修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年7月25日及び12月18日、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、昨年度の事業実施報告、今年度事業の説明と実施状況、来年度以降の事業計画について審議いただいた。 令和7年度は国庫補助事業及び県費補助事業による保存修理事業1件、町単独補助による保存修理事業9件、重文修理1件(防虫)、修景事業1件(防虫)を実施し、伝統的建造物の保存及び周辺環境の良好な景観形成に務めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き地域住民(土地・建物所有者)と協力して保存整備に取り組む。	

状況を示す写真や資料等



内子町伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催

- 開催日 令和7年7月25日(金)
- 議事
 - ・令和6年度事業実績について
 - ・令和7年度事業実施について
 - ・令和8年度事業計画について
- 開催日 令和7年12月18日(木)
- 議事
 - ・令和7年度事業実施について
 - ・令和8年度事業計画について
 - ・令和9年度以降の事業計画について

令和7年度修理事例(個人所有:付属屋 屋根)



修理前



修理後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1-3. 重要文化財内子座修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国)

計画に記載している内容 重要文化財内子座について、保存活用計画を作成し、耐震化を含む保存修理事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内子座保存活用計画を作成し、令和7年7月に文化庁に受理された。保存修理事業については、令和6年度に引き続き工事を行っており、工事見学会も実施した。防災施設整備事業及び公開活用事業に関し、高付加価値化改修事業に一本化し、令和7年9月1日付けで国の補助金決定を受け、実施設計に着手した。内子座保存活用検討委員会を1回開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和6年度に着手した保存修理工事について、着実に進めるとともに、あわせて防災や活用面での整備を同時に行う。この期間を文化財への理解を深める機会ととらえ、修理現場や記録映像の公開などに務めるとともに、集客につながるよう配慮しながら進める。なお、事業は令和10年末まで実施予定。

状況を示す写真や資料等

第11回内子座保存活用検討委員会

- 開催日 令和7年12月18日
- 議事など
 - (1) 内子座保存修理事業スケジュール
 - (2) 内子座保存修理工事の現状報告
 - (3) 高付加価値化改修事業について
 - ①屋外消火栓の整備内容について
 - ②トイレの整備について
 - ③奈落排水整備について
 - ④その他 内子座GCF、見学会など

重要文化財内子座保存修理工事

工事監理業務

- 委託先 公益財団法人文化財建造物保存技術協会
- 委託内容 工事監理業務
 - ①実施設計業務(解体後)
 - ②工事監理業務
 - ③文化財業務
- 契約期間 着手 令和7年1月15日
完了 令和10年12月28日

重要文化財内子座保存修理工事

- 入札方式 指名競争入札
- 契約先 株式会社山本建設
- 工期 着工 令和7年1月18日
完成 令和10年9月29日

重要文化財内子座高付加価値化改修事業

実施設計等業務

- 入札方式 指名競争入札
- 委託先 株式会社花岡直樹建築事務所
- 契約期間 着手 令和7年9月25日
完了 令和8年3月20日

内子座藝於遊(保存修理工事中の活用事業)の実施

- (1)お狐募金の継続
- (2)内子座楽屋企画展(4回)、関連WSの開催(1日2回)
- (3)楽屋ミニコンサート(5回)
- (4)工事現場見学会(2日8回)
- (5)内子小学校コミスク連携事業(2回)
- (6)内子座アート工事幕の掲出(6枚)とお披露目会の開催
- (7)内子座ガバメントクラウドファンディングの実施
- (8)内子座保存修理工事記録映像作成
- (9)内子座保存修理かわら版の発行
- (10)保存修理工事パンフレットの作成



【写真】

上段左：保存活用検討委員会
上段右：アート工事幕の様子



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
1-4. 歴史的建造物の建物調査等		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 今後の歴史まちづくり推進の基礎となる歴史的建造物等について、重点区域内において建造物の歴史及び特徴等の調査を行う。また文化財指定や登録についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建造物の調査は行わず、風致形成建造物候補物件の調査状況の整理や今後、建造物調査を実施するにあたっての候補物件の洗い出しを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

調査対象の物件の洗い出し及び調査体制が課題であり、今後、さらなる情報収集を進め、必要に応じて調査を実施する。

状況を示す写真や資料等

名称	文化財指定	調査状況
1 富島寺本堂	町指定有形文化財	○
2 富島寺山門	町指定有形文化財	○
3 富島寺中雀門及び国庫	町指定有形文化財	○
4 富島寺坐禅堂	町指定有形文化財	○
5 富島寺坐禅堂	町指定有形文化財	○
6 とぼしが森三島神社本殿及び拜殿	町指定有形文化財	○
7 旭館	登録有形文化財	○
8 旧下芳我家住宅、隠居屋	登録有形文化財	○
9 柳葉酒店店舗及び主屋	登録有形文化財	○
10 大西家住宅		○
11 酒六酒造酒蔵		○
12 森文蔵酒店雑兼守禮所		○
13 森文蔵酒油・味噌蔵		○
14 森文蔵酒蔵①②		○
15 旧佐野家住宅(商いと暮らし博物館)	登録有形文化財	○
16 旧宮崎家住宅	登録有形文化財	○
17 宇都宮家住宅		○
18 森家住宅		○
19 元吉岡歯科医院		
20 内子町ビジターセンター		
21 上岡美平アトリエ		
22 栗田家住宅		○
23 村上家住宅		○
24 旧二宮家住宅	登録有形文化財	○
25 旧土居家住宅		
26 大瀬の館		
27 大瀬の米蔵		
28 明智酒造		
29 明智酒造主屋・土蔵		

◁風致形成建造物候補の調査状況整理

約7割の建造物に何らかの調査が入っている。
令和8年度は私有地を中心に調査の打診を行い、今後の調査計画を明確にする。



◁令和8年度調査候補建造物

「小河家住宅」(※伝統的建造物群保存地区内)

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1-5. 伝建地区の防災対策の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区の総合防災計画に基づき、防火水槽の増設及び消防水利の確保を行う。また、震災等を考慮し保存地区内の複数個所に退避できるスペースや保存地区自主防災組織の物資倉庫等を設ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内の清正ひろば(358.10㎡)において、保存地区保存会と保存地区を構成範囲とする八日市自治会自主防災会との合同で、地区住民が参加し消防署員の指導の下、防災訓練を実施した。今年度は煙訓練を実施する予定であったが雨天のため消防署職員による災害時等の対応について講話を実施していただいた。その後、水消火器による消火訓練を行い、火災の初期消火に対応できるよう努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	坂町ひろばが完成したことにより災害等の際に退避できるスペースが拡充され、倉庫も併設されたことにより物資貯蔵に資することとなった。防災訓練は今後とも定期的実施する。		
状況を示す写真や資料等			

八日市護国地区町並保存会 防災訓練の実施

実施日 令和8年1月24日
参加者 30人
訓練内容

- ・災害時時の対応についての講話
- ・東日本大震災などのビデオを見ての学習
- ・水消火器を使った消火訓練



消防署員より災害時の対応について講話



東日本大震災時の様子のビデオを見て学習



住民参加の水消火器による消火訓練

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
1-6. 伝建地区の地区拡大の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 伝建地区についての平成21年度の見直し調査からも10年経過し、本計画期間内に選定40周年を迎える。この機会に地区拡大について調査等に基づき検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

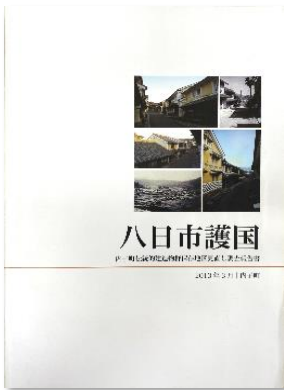
令和7年度は、伝建地区の地区拡大について特に進展は無かった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

拡大するためには建築物の価値づけと所有者の理解及びそれが面的な広がりを持たせられるかが課題であり、引き続き実現の可能性等を調査する。

状況を示す写真や資料等



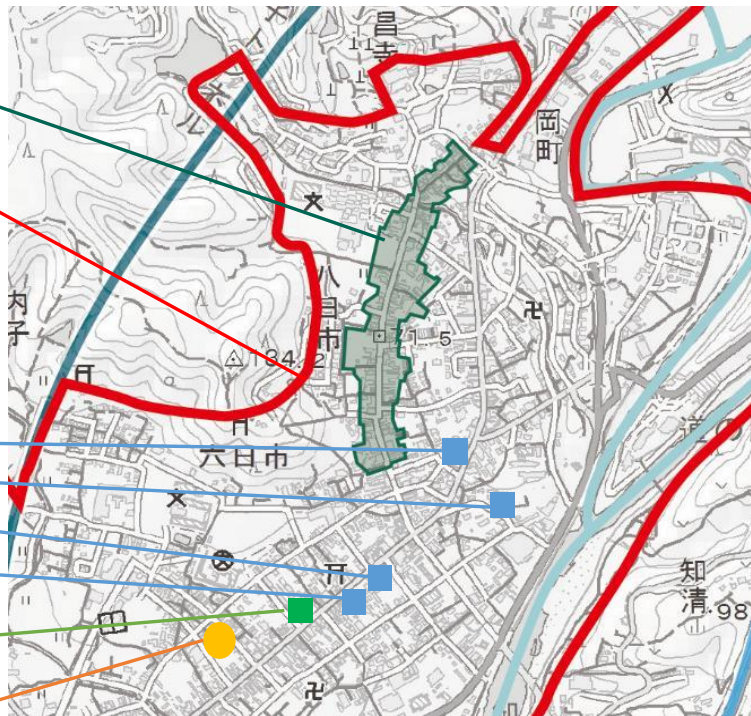
内子町伝統的建造物群保存地区
見直し調査報告書
(平成22年3月)

八日市護国重要伝統的建造物群保存地区付近

八日市護国
重要伝統的建造物群保存地区

歴史まちづくり計画重点区域

- 登録有形文化財 旭館
- 登録有形文化財 旧高橋家住宅
- 登録有形文化財 旧下芳我家住宅
- 登録有形文化財 旧佐野家宅
- 旧森家住
- 重要文化財 内子座



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
1-7. 歴史的建築物の保存及び活用に関する地域ルールを作成及び運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 歴史的建築物の大規模修理等を行う際、その保存すべき意匠等を損なわないよう、安全性の確保と保存の両立を図るため、建築基準法の第3条第1項第3号の適用除外条例(内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例)を制定し、内子町におけるルール(地域ルール)を作成し、文化財や歴史的風致形成建造物等の円滑な活用と保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○「内子町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」及び運用のためのガイドラインについて進展はなかった。
 ○香川大学創造工学部の宮本慎宏准教授の研究室に構造検討を依頼し、限界耐力計算による耐震工事を実施した旧森家住宅の主屋が完成。第2期工事の設計も、引き続き調査と構造検討を依頼して、耐震工事を実施する。対象は客座敷。
 ○宮本准教授と学生約10人が1月15日、現場の視察に来られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 制度設計及び運用について現実的な実現が課題であり、愛媛県にも働きかけつつ引き続きこれらについて学習及び協議を行う。
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

旧森家住宅の耐震工事(格子状の耐力壁)

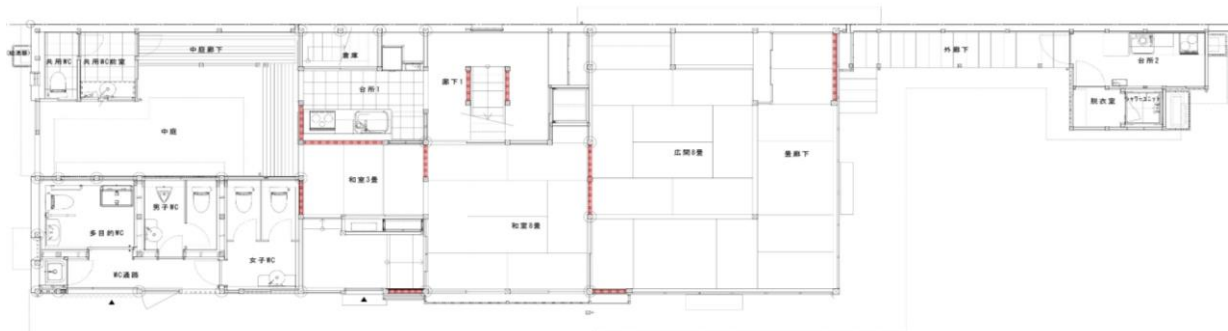


1階テナントの格子壁の状況



2階事務所の格子壁の状況

客座敷の耐震工事(実施設計)



客座敷1階平面図 ※赤色に着色した部分が格子壁

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1-8. 歴史的建造物と林業との関連施策の検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(国) 重要伝統的建造物群保存地区整備費補助金(県) 町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的にもつながりの深い山間部の林業と中心市街地の形成ではあるが、現在、そのつながりが視覚化されたものが乏しい。歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に利用できる仕組みを検討し、山林資源の町内循環はもとより林業と歴史まちづくりの関係の認識向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○歴史的建造物の修理時等に、町産材を積極的に使用するよう請負業者に使用を促している。 ○今年度の保存修理事業(国庫補助修景事業1件)においては、下地材(野地板)の修理等においては可能な限り町内の材木店で購入した製品(町産材)を使用し保存修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		対象となる歴史的建造物の修理をどのように定義づけて町産材を活用するか、また、その供給体制づくりが必要であり、次年度以降にさらに検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			



下地材(野地板)や垂木の修理実施による活用状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
2-1. 歴史的建造物周辺地区の修景等環境整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 町単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内で、重伝建地区などの歴史的建造物周辺や沿道等のトータルデザインを検討し、外観の修景や街路灯等の環境整備等を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
内子本町商店街における景観改善及び安全性向上を目的に計画している街路灯整備は、無電柱化の進捗と併せて実施することとなったため、工期が遅れることとなった。 令和7年度は、伝建地区に接する工場跡地の小公園整備事業について、新たに名称を「坂町ひろば」としてその工事が完成した。今後は町並の玄関口として、観光客の小休憩スペースとして、またイベント会場や災害時の退避スペースとして活用していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		街路灯については地元の要望もあるためできるだけ早く着工したいが、工事時期の調整が課題となっている。 坂町ひろばの整備は令和7年度以降に道路の舗装修理を含めて、順次整備を完成させていく。	
状況を示す写真や資料等			

■小公園対象地



整備前写真



整備イメージ(当初)



整備後写真



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
2-2. 空き店舗対策の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内の各地域における商業の活性化を図るため、空き店舗兼住宅又は店舗として使用可能な住宅の所有者に対し、店舗と住宅の共用部分の分離に必要な改修費の一部を補助するなど、空き店舗等の活用を促進を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

店主の高齢化や後継者不足、店舗の老朽化等により、町内の商店街等では空き店舗が増加傾向にある。このような状況を鑑み平成30年度に「内子町空き店舗等改修支援事業補助金交付要綱」を制定。所有と利用の分離の観点から、空き店舗等を増やさない仕組みづくりを行った。しかしながらこれまで当該制度の実績は2件に留まり利活用は進まない状況であった。そのため、当該制度を廃止し、利活用がより促進される制度「内子町はじめる・つなぐ商工活性化支援事業」を令和4年度に新設し、当該年度に5件、令和5年度に4件、令和6年度に5件の支援(改修等)を行った。令和7年度は8件の申請があり、店舗改修等の支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和4年度より既存制度を見直し、事業者がより活用しやすい制度を新設。空き店舗等の改修も含めて利活用が図れている。今後も景観にも配慮しつつ、制度の利用促進に繋げていく。

状況を示す写真や資料等

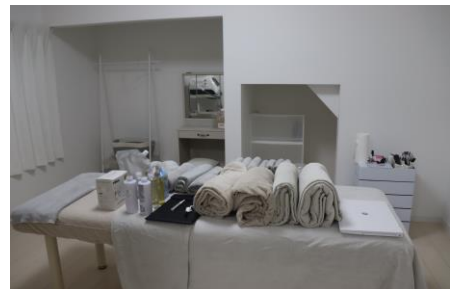
【事例1】

- 事業内容:
空き店舗を活用し、セレクト雑貨店を開業
- 補助金の使途:
雑貨店を開業するために必要な什器等備品購入及び店舗の改修等に係る経費
- 補助額 890千円



【事例2】

- 事業内容:
空き家を改装し、脱毛サロンを開業
- 補助金の使途:
脱毛サロンを開業するために必要な備品購入及び店舗の改修等に係る経費
- 補助額 1,000千円



【事例3】

- 事業内容:
空き倉庫を活用し、テイクアウトとイートインが可能なドーナツ屋を開業
- 補助金の使途:
ドーナツ屋を開業するために必要な備品購入及び店舗の改修等に係る経費
- 補助額 1,000千円



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
3-1. 職人の技術等、担い手育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 伝統産業の知識及び技術修得を志願する者に対して奨励金を交付し、伝統産業の後継者を育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成17年1月に制定した「内子町の匠づくり奨励金の交付に関する要綱」に基づき、内子町伝統産業の後継者の育成を補助するため、伝統産業の専門的な知識及び技術を修得しようとする者に対し、月額12万円を交付した(最大3年間)。令和2年4月1日からは、対象とする伝統産業に桐下駄製造を追加し、制度を拡充できた。これにより、技術継承が課題として挙げられていた3つの伝統産業において、後継者の育成を支援することができた。
令和7年度奨励金交付者数:1人(大洲和紙製造技術研修者・継続(R5年度より)1人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

大洲和紙製造技術研修者については、指導者のもとで着実に技術を修得しており、伝統技術の貴重な担い手として活躍している。研修者を引き続き支援していくとともに、今後は必要に応じて対象を拡充するなどの検討を行っていきたい。(現在は、大洲和紙製造技術研修者、茶の湯炭製造技術研修者、桐下駄製造技術研修者が対象)

状況を示す写真や資料等



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子①



大洲和紙製造技術研修者 紙漉きの様子②

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
3-2. 伝統行事等の継承の支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町伝統文化継承団体連絡会を中心に、保存継承団体相互の連携・情報共有を図る体制づくりを進める。また、各伝統行事等の映像記録を行い、保存継承のための資料として整備する。各地域に伝わる伝統芸能の周知啓発やその価値の再認識、次世代への伝承の機会とするとともに、活動の活性化を図ることを目的に「内子町伝統芸能まつり」を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○第11回 伝統芸能まつりを実施した。姉妹町村の宜野座村から宜野座区、松田区の獅子舞が出演。内子町からは、内子高校小田分校生が演じる小田獅子舞、寺村獅子舞、村前大根一座が参加し、演舞を披露した。
 ○内子町の伝統芸能を紹介するプロモーション動画を作成。本年度は「立川神楽」、「五十崎風踊り」、「廿日市獅子舞」、「村前大根一座(伊予万歳)」のプロモーションを作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

担い手不足により、内子町伝統文化継承団体連絡会の加盟団体が減少傾向にあり、伝統芸能まつり出演団体の固定化が課題。町外団体との交流を図りながら、活動継続のための意欲向上や情報収集につなげる。

状況を示す写真や資料等

第11回内子町伝統芸能まつり

- 開催日程 令和7年9月21日(日)
- 場所 内子町共生館ホール
- 出演団体
- [内子町] ・小田獅子舞保存会(内子高校小田分校)
- ・寺村獅子舞保存会
- ・村前大根一座(伊予万歳)
- [宜野座村] ・宜野座区二才団<宜野座区獅子舞>
- ・松田区芸能保存会<松田区獅子舞>
- 来場者数 200人

第11回内子町伝統芸能まつりは、獅子舞に焦点を当てて実施。伊予万歳の歓迎の舞を皮切りに、宜野座村の獅子舞や内子高校小田分校生が習う小田獅子舞などが披露された。

公演後は同会場にて総勢67名参加の交流会を行った。



町内で最も古い歴史をもつ寺村獅子舞の演舞



出演者の集合写真

内子町伝統芸能プロモーション動画作成

伝統文化を継承する伝統芸能の現状を映像として記録。加えて、撮影した動画を利用して30秒~1分程度のプロモーション動画を作成した。今後、SNSやホームページ等で公開し、周知活動の材料としていく。

- 令和7年度作成分
- ・立川神楽
- ・五十崎風踊り
- ・廿日市獅子舞
- ・村前大根一座(伊予万歳)



小学校で「立川神楽ふるさと公演会」

- 開催日程 令和7年11月18日(火)
- 場所 立川小学校体育館
- 出演団体 立川神楽保存会

立川小学校運営協議会(コミュニティ・スクール:のびすくたつかわ)が主催する取組に立川神楽保存会が出演。立川の伝統文化にふれ、その魅力を伝える機会となった。



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
3-3. 習慣、風習等の継承及び再現事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 現在、過疎化等で地域の伝統的な風習等が衰退しつつある。地域の伝統文化への理解を深め、コミュニティー文化を未来に引き継ぐため、実態調査や歴史の掘り起こしなどを行い、今残っているものの継承や活性化、なくなってしまったものの再現などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○伝統行事である「亥の子祭り」において、小学生による「亥の子つき」が実施されない地域が5割以上となった。継続に向け、愛媛大学や小田分校に呼びかけ、「わらすぼづくり」「奉納亥の子つき」を地域の方と実施する予定だったが、テスト期間やイベントが重なったため参加者が無く中止となった。
 ○「小田燈籠祭り」は、復活3年目。「山の神火祭り」の復活2年目。また、中川三島神社のイチョウまつりからの依頼もあり、小田分校生とともに、祭りを盛り上げる活動を行った。
 ○伝統芸能の継承として、小田小学校150周年記念式典での、小学生による「和太鼓」演奏を、12回の練習を行い、11月22日(土)に発表を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 継続的な事業となるよう他機関の連携等体制づくりが必要。

状況を示す写真や資料等

小田地区「亥の子つき」行事の継承(中止)

- 会場 本川広瀬神社(恵比寿神社)
- 日時 令和7年11月25日 15時から
- 講師 地元、高本師津雄 氏
- 内容 亥の子つきに使用する「わらすぼ」づくり、奉納亥の子つきの実施。

小田地域の伝統祭りの復活、盛り上げ

- 燈籠まつり(復活3年目)
令和7年7月26日(土)
- 山の神火祭り(復活2年目)
令和7年8月15日(金)
- 中川三島神社イチョウまつり
令和7年11月16日(日)

小田の文化継承プロジェクト
本川恵比寿神社
亥の子(いのこ)祭り
「亥の子つき体験」

参加者募集のお知らせ
 農作物の製作、商売準備をお祈りする。
 本川恵比寿神社の「亥の子祭り」は、古くから本川地区で引き継がれている秋の盛大な行事で、祭りの前夜、地域の子どもたちが、各家をまわり「亥の子つき」を行います。
 近年、子どもさんが少なくなり、「亥の子つき」が行われない地区も出てきました。大切な地域独自の文化を未来に引き継ぐため、多くの皆さんの参加を募集します。
 参加してみたいと思った方は、ご連絡ください。
 本川自治会総務部 喜本

「亥の子つき体験」の内容
 日時:令和7年11月25日(火)15時～19時頃
 (11月26日(水)恵比寿祭り前夜)
 場所:内子町本川 広瀬神社(恵比寿神社)境内
 内容: ①亥の子つき「歌」の練習
 ②亥の子つきの棒(わら)づくり
 ③恵比寿神社前で奉納「亥の子つき」など

去年の様子



文化芸能(和太鼓)の継承

- 研修 5月～11月 計12回
- 発表 令和7年11月22日(土)
小田小学校150周年記念
オープニング



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
4-1. 中世城館跡等、遺跡・文化財調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内には曾根城跡や龍王城跡などの中世城館跡ほか遺跡等が多数存在すると伝わる。これら中世城館跡について現地調査を行い、縄張り図の作成や城館跡の現状の記録など、発掘調査の実施につなげることを目的に実施する。調査にあたっては専門家の指導を仰ぎ、地元有志を募って調査チームを結成し、住民の学びの場とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 内子町に所蔵されている太田城跡出土遺物について、愛媛大学の協力を得て再評価および公開に取り組んだ。
- 伊予遍路道大寶寺道「下坂場峠越」の試掘調査を実施した。
- 周知の埋蔵文化財包蔵地「居倍野城跡」の表探調査を地域住民と連携して実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している 町指定史跡活用方法を模索するため、比較データ収集を目的に町内の主要な山城調査を継続して実施する。また、他自治体を参考に試掘調査の実施に向けた準備を行う。
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

太田城跡出土遺物再評価プロジェクトに伴う遺物再整理と活用

- 実施日 令和7年4月23日(水)～12月20日(土)
- 場所 旧小田郷土資料館 他
- 概要 愛媛大学と共催で、旧小田郷土資料館に収蔵している「太田城跡(現 城の台公園)」出土遺物の再評価に取り組んだ。12月20日には、戦国時代の暮らしに触れる・体験する企画(ふるさと学のスヌメ 応用編)を実施し、町内外から100名の来場とにぎわった。

伊予遍路道大寶寺道「下坂場峠越」試掘調査

- 実施日 11月26日(水)～12月10日(水)(2、3トレンチ)
12月18日(木)～12月24日(水)(4トレンチ)
1月26日(月)～2月13日(金)(1トレンチ)
- 調査指導協力 谷若 倫郎(瀬戸内海考古学研究会 副代表)



遺物を確認する愛媛大学生(左)と灯火の茶室体験(右)



調査指導の様子

周知の埋蔵文化財包蔵地「居倍野城跡」表探調査

- 実施日 令和7年12月12日(金)～17日(水)
- 調査協力 愛宕山保存会
- 概要 中川地区に所在する愛宕山には周知の埋蔵文化財包蔵地「居倍野城跡」が存在する。当遺跡は地元有志によって結成された「愛宕山保存会」によって保全活動が行われており、町史跡への指定が望まれている。しかしながら、文献資料に乏しく、築城年代等を特定するには至っていなかった。そこで次なる調査の段階として、表面調査を実施し、遺物の採取を試みた。調査の結果、年代特定は不明であるものの土師質器片(口縁部)を採取できた。



調査の様子



採取遺物

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
4-2. 博物館歴史展示・講座等の実施		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町の歴史に関する常設展示を行い内子町の魅力を町内外に伝え、意識啓発等の機会を設ける。また特別企画展を年1回開催し、最新の調査・研究成果の報告を行うとともに関連講座等を実施し、理解を深める。テーマを持った資料館においては、年に1度ミュージアム講座を開催し、継続した学びの場及びその分野の専門家の交流の場とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○木蠟資料館上芳我邸:木蠟・ハゼノキに関する体験を拡充し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。
 ○内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館):特別企画展と関連講演会、ギャラリートークを開催した。また別途特別企画展の記録集を刊行し、最新の研究成果を還元する機会を増やした。
 ○五十崎風博物館:風や手漉き和紙に関わる体験を実施し、町内における理解者・協力者づくりにつとめた。町外への出張の風作り体験も実施した。
 ○学芸担当者および自治・学習課の協力により戦争をテーマにした巡回展を実施した。愛媛新聞および愛媛朝日テレビ等にも取り上げていただき、町内の平和への意識向上がはかれた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 報道への連絡やSNSの活用により企画展や講座の来場者が増加。観光客数も徐々に回復しており、より充実した企画展やミュージアム講座等を実施したい。今後は各館で連携をとりながら、効果的なPR方法を学習し、町の魅力を伝える機会を増やす。
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【木蠟資料館上芳我邸】

第9回企画展「学芸サポーター活動成果報告展Ⅱ」

- 会期 令和7年7月19日～9月30日
- 会場 製蠟用具展示棟2階
- 総来場者 7,036人

【関連ワークショップ】

襖の下張り文書はがしWS 4回参加者計18人

木蠟・ハゼノキワークショップ

- 4～5月、7～8月 木蠟クレヨンづくり 2人
- 6月、9月、12～1月 木蠟保湿クリームづくり10人
- 10月 楯染め体験 1人
- 11月 ハゼノキの実採り、カラサオ打ち体験 13人
- 2～3月 木蠟保湿クリームづくり 予定



ふすまの下張り文書はがしWS

【五十崎風博物館】

大洲和紙を使った体験ワークショップ館内で随時実施しているほか、学校やイベントへの出張ワークショップも行っている。

○風・うちわ作り体験等(1月まで)

- ・風づくり体験 299人
- ・うちわづくり体験 102人



内子高校の風作り体験

【内子町歴史民俗資料館(商いと暮らし博物館)】

生誕150周年記念特別企画展

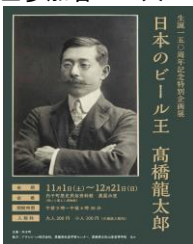
「日本のビール王・高橋龍太郎」展

- 会期 令和7年11月1日～令和7年12月21日
- 会場 内子町歴史民俗資料館 蔵
- 総来場者 4,224人

【関連講座】

「近代ビール醸造とアサヒビールの誕生」

- 開催日 令和7年11月16日
- 講師 藤井裕之さん(吹田市立博物館元副館長)
- 参加者 19人



企画展チラシ



関連講演会の様子

【特別企画展示】

「内子と戦争～あの時この場所では～」

- 会期 7月1日(火)～9月5日(金)
- 会場 五十崎自治センター、内子自治センター、大瀬自治センター、内子東自治センター、小田自治センター(巡回) 約100人来場



展示を見学する大瀬小学生



展示広報物

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
4-3. 町蔵資料のデジタルアーカイブ化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 内子町収蔵資料のうち、整理、目録作成の終了したものから写真撮影を実施し、デジタルアーカイブ化を進める。所蔵資料の内容や所在の公開を目指し、それにより誰もが見られ、活用できる仕組みを整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○デジタルアーカイブ化
 収蔵資料に大まかな優先順位をつけ、順次スキャン、写真撮影を進めた。
 ○戦後80年にあたり、戦時資料の寄贈依頼が多数あった。地域資料として活用していく同意をいただいたものから寄贈対応を行いデータ化していった。
 ○文化講座と連携して、地域資料のオープンデータ化について学んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 デジタル化の作業が順調であるため、来年度以降はアーカイブ化に向けて個々の資料の公開の可否、目録の見直しを並行して進めていく必要がある。資料収集も順調であるが、収蔵スペースの確保が大きな課題。解決に向けた協議を進める。

状況を示す写真や資料等

資料のデジタル化

目録整理係、デジタル化係、解読係と関係者間で役割分担し、随時、資料のアーカイブ化に取り組んでいる。

《令和7年度完了分》

- ・令和7年度寄贈資料(戦時資料) 20点

資料の取得及び整理(目録制作)の継続

未整理の資料や寄託資料について、整理・目録作成を継続した。併せて歴史資料の寄贈に関する相談に応じた。令和7年度は戦後80年の節目ということから、戦時資料の寄贈依頼が多数あった。

- ・令和7年度寄贈の戦時資料(82点)



随時、スキャン



寄贈された戦時資料の一点



寄贈希望の資料を寄贈者に解説いただく様子

文化講座との連携

- 期日 令和7年10月22日(水)
- 会場 内子自治センター
- 講師 飛騨市教育委員会 三好清超氏
演題 関係人口と共働して博物館と飛騨市を未来へつなげる

愛媛大学および気軽にコミュニティ・カレッジin内子懇話会(住民グループ)と共催する文化講座にて、データ化が秘めるまちづくりの可能性について飛騨市の実践をもとに学んだ。データを活用することは、誰もが取得者にも発信者にもなる方法であり、関係人口という住民以外の支援者が積極的に関わる仕組みづくりも可能であると、石棒クラブの活動を知ることができた。また当講座は、10代から70代まで幅広い年齢層が受講し、今後のデジタルアーカイブ化に関する情報発信の機会としても有効ではないかと実感した。



講座の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
4-4. 博物館ボランティア(学芸サポーター)育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 平成24年度より活動している町内博物館ボランティアグループ・学芸サポーターの活動を拡充させる。現在行っている資料整理作業(古文書解読・整理)だけでなく、ワークショップや伝統産業である和紙・木蠟の生産など様々な興味・関心に合わせた活動を行い、博物館の「学びの場」としての機能を充実させ、より多くの住民の博物館活動への参加を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 上芳我邸で学芸サポーターが月1回の古文書整理活動を実施。他の講座等にも出席し、知識を蓄積している。
- 学芸サポーター講座公開ワークショップ「襖の下張り文書はがし」を実施するなど活動を拡大
- 令和6年度より学芸サポーター内子れきみん班が活動を本格化させた。くすり瓶の調査整理、製糸業関係民具調査、「永代録」講読の3つの活動を実施し、学びを深めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 - 計画どおり進捗していない
- 外部講師による養成講座を開催し、中学1年生から70代までの幅広い参加者を得た。活動を安定して継続させるため、来年度以降も講座の開催や専門家への協力依頼を積極的に行う。

状況を示す写真や資料等

古文書整理活動(上芳我邸)

- 開催日 月に1回開催
- 参加者 延べ73人
- 内容

「上芳我家文書」の整理作業に加え、森家文書の解読作業を実施。毎月活動報告を発行。
今年度は第9回企画展として「学芸サポーター活動成果報告展Ⅱ」を実施した。(p17参照)



活動の様子

内子町学芸サポーター(内子れきみん班)活動

活動回数: 12回(例会: 9回 / 講演会: 1回 / 専門家による指導1回)

【例会】

- ・くすり瓶調査
活動回数: 4回 参加者: 延べ 24人(※予定)
- ・製糸業民具調査
活動回数: 4回 参加者: 延べ 28人(※予定)
- ・「永代録」講読会
活動回数: 3回 参加者: 延べ 24人

【講演会】

- 歴史民俗資料館で開催した講演会を例会とした(P17参照)
- ・高橋龍太郎生誕150周年記念特別企画展関連講演
日程: 令和7年11月16日
参加者: 19人

【専門家による指導】

製糸業民具調査について、愛媛県歴史文化博物館より専門家を招き、調査、活用に関して指導・助言をいただく(予定)。
日程: 令和8年3月28日
講師: 松井寿さん(県歴博専門学芸員)



民具調査の様子



くすり瓶調査の様子

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
4-5. 歴史的資源の周知・活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 観光客等を対象としたまち歩きガイドの充実や外国人観光客等に向けた案内や多言語化などの拡充を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度に引き続き内子町の町並みを案内するガイド業務を行った。令和5年5月から新型コロナウイルスが感染症5類となり観光客数の急激な回復とともに、内子町町並みガイドの会(日本人)での活動が活発に行われた。ガイドの会は月に一度会合を開き、意見交換や研修を行っている。多言語化に関しては、英語版のHPへの誘導や英語表記の看板を設置し対応しているほか、令和7年度は外国語ガイドの会において10組(75名)に対して外国語対応が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

日本人のガイド事業に関して、高齢化のため事業継承をどのようにしていくかが課題。観光協会と情報を共有し、引き続き啓発を行っていく。

状況を示す写真や資料等



町並ガイドの会によるガイドの様子

ガイド実績(町並みガイドの会)

R01年度	210組	3,056人
R02年度	95組	1,573人
R03年度	59組	643人
R04年度	125組	1,565人
R05年度	176組	2,157人
R06年度	202組	3,129人
R07年度	142組	1,841人(4月～12月)



Highlights

新設した英語サイト
<https://uchikogenic.com/en/>

外国語ガイド実績(外国語ガイドの会)

R06年度	17組	139人
R07年度	10組	75人(4月～12月)



英語表記の案内看板

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
5-1. UDC(アーバンデザインセンター)などまちづくり拠点・組織等の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史まちづくり推進の拠点を設け、景観計画や都市計画の観点からもまちを捉えて歴史まちづくり計画を実践していく。そのためにも、住民が訪れやすい空間を歴史的建造物の活用と合わせて整備する。また大学や専門家との連携も図り、まちづくりや歴史資源の情報などの集積機能を併せ持つ組織の確立を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○旧森家住宅の組織について ・旧森家住宅のエリアネームを「MORITEI」に決定。歴史観光交流拠点として、歴史まちづくりを推進しながら商店街や周辺地域の活性化にも寄与したい。 ・施設の指定管理者とテナント入居者が決定したので、地域未来交付金を活用した運営実証をしながら、自走できるまちづくり組織の仕組みを構築できるよう各事業を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		旧森家住宅の整備活用と併せて、歴史まちづくりの拠点整備や体制等の協議を行う。現在、インキュベーション的な活用が先行しているが、大学や専門家、地域住民や高校生との連携を図りながら歴史的風致の維持向上に寄与したい。	
状況を示す写真や資料等			

歴史観光交流拠点施設の組織づくり

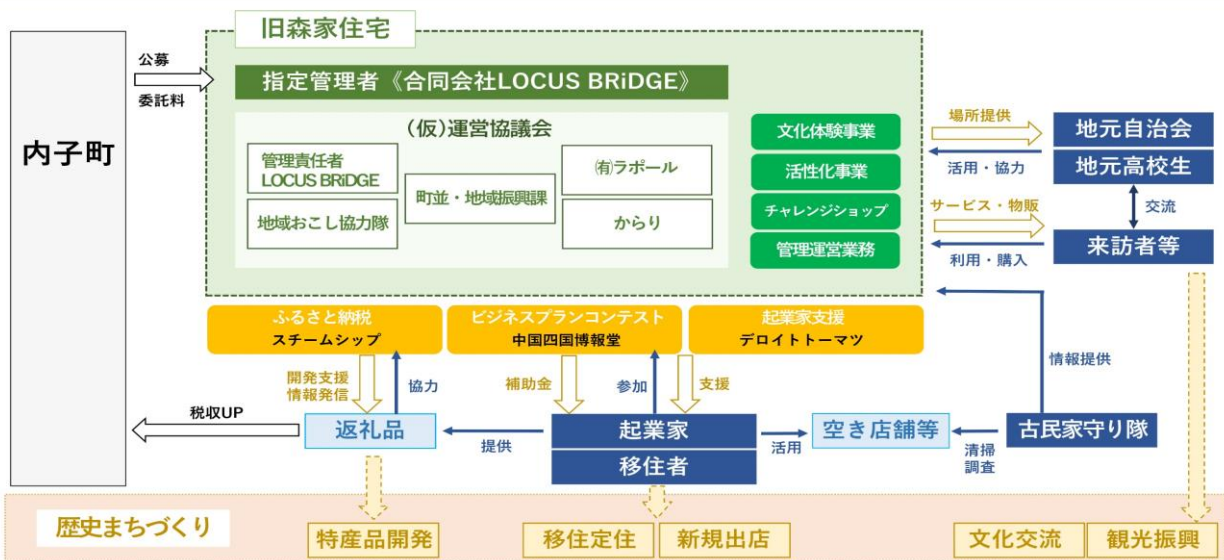
■指定管理者の決定

- 概要 「内子町公の施設指定管理者選定委員会」により審議し、指定管理候補者を選定。12月議会の議案として提案して議決され、指定管理者を決定した。
- 指定管理者 合同会社LOCUS BRIDGE
※公募には3社が参加した。
- 指定期間 令和8年4月1日～13年3月31日
※令和8年3月31日までは予定者として、運営実証事業業務委託契約を締結する。

■テナント入居者決定

- 概要 主屋と米蔵のテナントに入居する業者を公募により決定した。
- ①主屋：(株)内子フレッシュパークからり
- ②米蔵：(有)ラポール
- 関連事業
- 概要 ビジネスプランコンテストと起業家支援を委託業務により実施中。移住定住、新規出店を促す仕組みづくりにつなげる。
※WGによる第3期整備の協議を継続中。

新たな組織づくりのイメージ図



※旧森家住宅を拠点とした歴史まちづくりスキームのイメージ

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
<input type="checkbox"/> 文化財調査、指定について <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財の取扱いについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・地域の多様な文化財の掘り起こしや調査を進め、価値が認められたものについて指定・登録を検討する。 ・町指定天然記念物等にかかる文化財パトロールの体制を整備し、現状把握と適切な保護を行う。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為への対応、出土遺物の適切な保管・管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

文化財パトロール員や地域住民からの報告を受け、落枝の危険がある天然記念物等の現状把握に努めた。
文化財の一部指定解除:内子町指定天然記念物「八幡神社のイチヨウ」
埋蔵文化財の取扱いについて
 開発工事にかかる照会対応(2026/1/26時点 公共:3件・44カ所、民間:17件・17カ所)した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、町指定文化財及び国登録候補物件の調査を進め、指定・登録を検討する。埋蔵文化財については、包蔵地登録範囲の明確化が課題であることから、順次、包蔵地の確認・調査を進め、開発工事にかかる調査にも対応できるよう体制を整える。

状況を示す写真や資料等

天然記念物現状把握と対応

実施日: 随時
実施結果: 文化財パトロール員および町民からの報告を受けて天然記念物等の現状把握に努めた。特に、落枝が発生し周辺に危険が及ぶ記念物に関しては地域の協力のもと迅速な対応を試みた。



天然記念物「中川三島神社の兄弟カヤ」剪定作業

天然記念物の一部指定解除

実施日: 令和7年5月29日(木)
文化財名: 八幡神社のイチヨウ
概要
 六日市八幡神社の雌雄のイチヨウの内、雄樹について約7年前から根元に腐朽菌が発生していることが報告されてきた。年々、目視で確認できる程度に傾斜がきつくなってきていたので、樹木医に診断を依頼したところ、根本の約70%が空洞化していることが判明した。
 所有者と協議したところ、周囲の安全確保を優先し、雄樹の指定を解除したのちに伐採された。



伐採後の様子



パトロール員の報告で判明した町史跡「四兵衛の墓」の危機的状況

周知の埋蔵文化財包蔵地に関する現地協議

実施日: 令和7年11月28日(金)
対象地: 周知の埋蔵文化財包蔵地「黒瀬城跡」
 周知の埋蔵文化財包蔵地「黒瀬城跡」に隣接する国道56号線の歩道について拡張工事前の現地踏査を大洲河川国道事務所および愛媛県教育委員会文化財保護課と共同で行った。



三者での施工内容の共有および現状確認

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
<input type="checkbox"/> 文化財の修理(整備)について <input type="checkbox"/> 文化財の保存・活用を行うための施設について <input type="checkbox"/> 文化財の周辺環境の保全について <input type="checkbox"/> 文化財の防災について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・重要文化財や重伝建地区での保存修理事業の実績を活かし、新たな調査研究成果に基づいて修理を行う。
- ・伝統文化施設における企画展・イベント等の開催、多言語化などの推進に取り組む。
- ・都市計画区域マスタープラン、内子町景観まちづくり計画など連動し、景観に関する住民意識の向上を図りながら文化財とその周辺の一体的な保全や調和を図る。
- ・重要文化財等にかかる防火設備の設置、文化財所有者への啓発、文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に、地域住民や消防本部等と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理(整備)について、町指定史跡「龍王城跡」の同時に案内看板の修繕(新規設置)を行った。
 ※伝建地区及び内子座についてはP4、5参照。
文化財の保存・活用を行うための施設について※講座や多言語化等はP20参照。
文化財の周辺環境の保全について、町指定史跡「龍王城跡」の老朽化した遊歩道の撤去工事を行った。また、近隣施設のプライバシー保護のため生垣設置工事を実施した。
文化財の防災については、文化財防火デーに合わせて各施設にて防災訓練を実施した。
 ※内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区についてはP7参照

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・修理・整備に関しては、歴史的価値を損なわないよう、また所有者等の意向を尊重するとともに意識啓発も図りながら進めていく。 ・ほか3項目についても継続的に実施していく。

状況を示す写真や資料等

町指定史跡「龍王城跡」説明看板修繕工事

町指定史跡「龍王城跡」に設置されていた説明看板が老朽化していたため、新規に制作した。また設置個所も当初の位置から、見学者が発見しやすい位置に変更した。

□工事日：令和7年12月9日(火)



設置された説明看板

町指定史跡「龍王城跡」周辺整備事業

史跡「龍王城跡」の北側に設置されていた遊歩道が老朽化していたため、隣接するオーベルジュ内子担当者と協議の上撤去することが決定した。同時に施設利用者のプライバシー保護のための生垣設置工事を行った。

□完成日：令和7年12月10日(水)



完成した生垣

文化財等の防災訓練

1月26日が文化財防火デーであり、町内各施設で訓練を実施し、内子消防署署員から主に以下の訓練指導を受けた。

- ・火事を想定した通報訓練。
- ・来館者の避難誘導や消火器の取り扱い訓練。
- ・地震発生時の対応について確認し、助言を得た。

【内子座】

□実施日／参加者：令和8年1月26日／7人

【木燐資料館上芳我邸】

□実施日／参加者：令和8年1月29日／7人



上芳我での消火訓練

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
<input type="checkbox"/> 文化財の保存及び活用の普及・啓発について <input type="checkbox"/> 文化財行政等の体制について <input type="checkbox"/> 文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・展示施設における企画展・イベント等の開催、学芸サポーターの育成、郷土学習の充実などに取り組む。
- ・文化財担当部局のほか、まちづくり・観光・都市計画部門等を含めた体制の見直しと連携を図り、文化財の保存と活用を推進する。
- ・文化財や伝統行事の保存継承に取り組む団体等に対し、必要な情報や発表の場の提供、担い手育成の支援などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存及び活用の普及・啓発について
 ・地域史の充実化を図るため、令和2年度に開講したふるさと学のスズメ(講座3回)を継続して実施。
 ・内子中学校3年生の郷土学習の一環として、今年度も蠟燭作り体験学習を実施した。
 ○文化財行政等の体制については、組織的な変更はない。関連する職員間で研修及び情報共有の機会を設けている。
 ○文化財の保存・活用に関わる団体等との連携および支援は、企画段階で連携を図り支援につながる事業展開を試みた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・普及・啓発は、現体制では人員不足が挙げられる。限られた人員で連携して進めていくが、全体的な体制整備と併せて、計画的な人員増強について提案等していく。
 ・子どもたち対象の学習会や体験などの機会は貴重であり、今後も推進していきたい。
 ・関係団体との連携は今後も継続していく。

状況を示す写真や資料等

ふるさと学のスズメ(講座)

■第1回 令和7年6月7日(土) 22人受講
講師: 愛媛大学アジア古代産業考古学
 研究センター 村上 恭通氏
演題: 「内子の眠れる文化財
 ~未来へつなぐ考古資料の保存と活用~」



講座の様子

■第2回 令和7年7月27日(日) 13人受講
講師: 伊予史談会常任理事
 多田 仁氏
演題: 「内子監視哨の記録ー 戦時中の国民防空ー」



案内チラシ

■第3回(応用編) 令和7年12月20日(土) 100人来場
共催: 愛媛大学社会共創学部文化遺産論ゼミ
協力: うちこ山村クラフト研究所/みやべもくり
企画名: 小田・太田城が伝える戦国の暮らし
 ~太田城再評価プロジェクト~

内子中学校蠟燭作り体験学習

実施日: 令和7年6月12日、13日
協力: 八日市護国地区町並保存会
 有志5人、
参加: 内子中学校3年生47人
内容: 地域産業の歴史を学ぶため、昔ながらの方法で木蠟を搾る体験等の学習を行った。12日は小田分校のインターン生が準備及び体験指導に協力してくれた。



インターン生による体験指導

小学3年生向け体験学習「昔の暮らし」
実施日: ①令和8年1月20日・29日(内子小)
 ②令和8年2月26日(内子小)

参加: 内子小学校3年生 40人
内容
 ①歴史民俗資料館で古写真を使った町の移り変わり学習、民具を使って昔の明かり体験を実施した。
 ②高橋邸にて井戸の水くみ体験、火鉢を使ったかきもち体験を実施予定。

町内学校からのインターンシップ受け入れ

学校: 内子中学校、五十崎中学校、小田中学校、県立内子高校小田分校 計6人
内容: 各施設の展示や体験事業の補助を行った。



中学生による成果展示

内子れきみんであそぼ

■Vol.7 むかしのくらしと明かり体験
実施日: 令和7年9月27日(土)
協力: 内子町図書館
参加: 町内小学生4人
内容: あかりの歴史をたどりながら、本を使ったクイズと体験を実施した。

■(拡大版) 内子の町並みであそぼ
 昔のくらしとかまど体験
実施日: 令和8年3月20日(金)
参加: 町内小学生10人程度
内容: 簡易かまどを使った炊飯と昔の食事体験。



読み聞かせの様子

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「出世風」に成長願ひ赤ちゃんの名前 内子・五十崎で保護者揮毫	令和7年4月23日	愛媛新聞
明治期建造、棧敷席残る相撲場跡 内子町が有形文化財に指定	令和7年4月25日	愛媛新聞
懐かしの「筏流し」再現 内子・川登地区で川まつり	令和7年4月27日	愛媛新聞
老いも若きも夢中！空高く300枚舞う 内子で「いかにざき大風合戦」	令和7年5月5日	愛媛新聞
内子の映画館「旭館」来年で築100年 老朽化問題、新たな活用探る	令和7年6月18日	愛媛新聞
戦争 内子との関わりは	令和7年7月11日	南海放送
ただいまLive in内子町 まちを彩る”笹まつり”	令和7年8月6日	南海放送
華やかで風流 内子の夏の風物詩「笹まつり」通りに並ぶ大きな笹飾り	令和7年8月6日	テレビ愛媛
2000灯の希望が夜を照らす「山ノ神」浮かぶ火文字 内子・小田で火祭り	令和7年8月19日	愛媛新聞
保存修理中の内子座で見学会 間近で屋根瓦の選別作業など説明	令和7年9月18日	愛媛新聞
有壮、躍動 伝統の獅子舞 内子で芸能まつり	令和7年9月25日	愛媛新聞
中秋の名月愛でる”白壁の町”愛媛・内子町の「観月会」／報道ステーション	令和7年10月6日	テレビ朝日
ユーモアたっぷり独特の抑揚 内子で「狂言くらぶ」公演	令和7年10月7日	愛媛新聞
八日市町並観月会の模様／みかん星交響曲	令和7年10月12日	南海放送ラジオ
開幕迫るアートイベント！ 異色のアーティストの作品制作に密着／NEWSCH.4	令和7年10月14日	南海放送
工事幕にジブリスタッフが描いた風景画 修理中の内子座	令和7年10月17日	愛媛新聞
秋の内子、アートで回遊 初の芸術祭が始まる	令和7年10月18日	愛媛新聞
秋祭り継承、地域一丸で 女子行司役も大役 内子・川中三島神社	令和7年10月24日	愛媛新聞
芝居小屋「内子座」の耐震補強、クラウドファンディング第1弾	令和7年11月23日	読売新聞
内子座改修、舞台を町に「内子・ザ・文楽」寺など2か所で実施	令和7年11月30日	愛媛新聞
「日本のビール王」高橋龍太郎に高まる顕彰機運	令和7年12月4日	愛媛新聞
ビール王、政治家、球団オーナー… 愛媛・内子で高橋龍太郎の特別展	令和7年12月17日	朝日新聞
内子「小田深山千年の森公園」、国認定サイト入り	令和8年1月23日	愛媛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に基づく事業に係る報道4件、歴史まちづくりを推進・実践することで形成される町並み保存地区などの良好な景観や歴史的資源を紹介・案内する報道4件、その他、伝統産業・行事、文化財等を活用しての取り組み等に関する報道15件を掲載した。活動自粛が緩和され、少しずつ人の動きが増えてきたので、上記以外にも報道があった。伝統産業や行事、文化財等を活用した取り組みは規模は異なるが多様な形態で増えている。それらが報道されることで人の交流やネットワークの広がりがこれまで以上に見られるようになった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

報道の効果は大きく、内外ともにまちの魅力や価値を広められる。報道機関への取材依頼等の周知を積極的に行うことで、より効果的は情報発信の機会としたい。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくりを積み重ね、それら資源を活用した取り組みにより報道される機会の多い事例



笹まつり



観月会



工事中の内子座

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

歴史的資源の掘り起こし、普及活動

計画に記載している内容
歴史資源を活かしたまちづくりを進めるフィールドの拡充、職人やまちづくりの担い手育成、交流人口の増等を目指す。
専門職の配置や大学などとの連携等、体制の充実を図りつつ、基礎となる歴史的資源などの調査を進める。
住民や地元企業、大学や専門家などと連携し、まちづくりに関する資料や職人技術・歴史資料など集積機能を併せ持つ組織の確立や、それらによる人材育成、地域住民の意思醸成を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○小田地域が愛媛県・東京芸大主催の「art venture ehime fes 2025」の会場の一つとなり、愛媛大学の井口梓教授による長年の地域の調査の成果がアートとして展示された。あわせて有志による関連展示やイベント、出店、環境整備なども行われ、県内外から多くの人々が来場した。

○郷土の偉人の顕彰事業として、生誕150周年を迎える高橋龍太郎の顕彰に取り組んだ。スポーツとの関わりから「高橋龍太郎杯」の開催、ビールの製造、普及に尽くしたことからドイツフェスタとの連携など年間通して様々な事業に取り組み、町内外から反響を得た。また、あわせて昨年度制作した漫画「高畑誠一物語」の普及活動を行い、ゆかりの地である神戸市で贈呈式を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

内子座の改修中、改修後に向けて計画的に関係資料の保存・調査やヒアリング調査や普及活動を行う必要があるが、人員不足が大きな課題である。
引き続き大学や関係職員間で連携をとり、進めていきたい。

状況を示す写真や資料等

「小田地区の古写真」ヒアリング調査

□調査期間：8月25日(月)～28日(木)
□調査者：愛媛大学社会共創学部 井口梓教授
及びゼミ生9名、

□内容：小田地区に残る古写真について7名の対象者にヒアリングを行い、現地調査を行った。最終日には内容をまとめた模造紙を小田自治センターロビーに展示し、関係者、地域住民への成果報告を行った。成果はアートベンチャーエヒメフェスの展示にも反映された。



小田地区調査の様子

県民参加型アートフェスティバル「art venture ehime fes 2025」

□実施日：令和7年10月18日(土)～11月3日(月)
□メイン会場：お宿にのみや サテライト会場：旧小田中央商店街
□来場者：624人

□内容：県内3つの市町で実施。内子町小田ゾーンでは、アーティスト井口梓による展示型作品「つむぐ Weaving History」の展示。また、映像作家のko-ki karasudaniの映像作品3作品の上映。加えて、小田地区に残る古写真52枚と土居通康氏の絵農書8枚をのれんに仕立てて展示した。



展示型作品「つむぐ」

高橋龍太郎生誕150周年記念事業

令和7年に生誕150周年を迎えた郷土出身の偉人・高橋龍太郎を顕彰する事業を年間通じて実施した。

□5月 ドイツフェスタ、パネル展 □11月 特別企画展
□7月 止談風月の夜 第一夜 内子The文楽
□8月 高橋龍太郎杯(サッカー) 高橋邸ダイニング
□9月 止談風月の夜 第二夜 □12月 止談風月の夜 第三夜
□10月 高橋龍太郎杯(ソフトボール)



高橋邸での文楽公演の様子

龍太郎の生涯を素浄瑠璃にしたてた文楽の公演や、高橋家に残る古記録を参考にした江戸時代のもてなし膳をふるまうイベントなどを開催した。

漫画「高畑誠一物語」普及事業

令和6年度に制作した郷土出身の偉人・高畑誠一の生涯とその功績を伝える漫画を高畑ゆかりの地である神戸市に寄贈し、その存在と功績を広く知ってもらうことを目的として贈呈式を開催した。

【贈呈式】

□日時：令和8年1月27日
□場所：こども本の森神戸
□内容：こども本の森神戸名誉館長である俳優・竹下景子氏を受領者とし、関係者を来賓として迎えて贈呈式を行った。



贈呈式の様子